

ウェルおおさか

大阪の福祉を知るみんなの情報誌

vol.99 2015.12

隔月発行(偶数月1日)

特集

介護ロボットの活用と展望

- 講座案内
- 福祉の歴史散歩：戦前の大阪市保健部の乳児死亡低減の取り組み②
- 図書・DVD新着情報



近年、日本のロボット技術を介護の分野に活かそうとする開発が多く進められています。導入するには、さまざまな壁があります。しかし、ロボットの実用化が進めば、介護職員や介護をする家族の負担を軽減したり、要介護者自身の自立やQOL(生活の質)を高めたりすることが期待できます。今回は、介護ロボット開発・導入の現状、そして、これから求められる介護ロボット像やロボットを活かした未来の介護について考えてみたいと思います。

介護ロボットが広がらない理由とは？

介護の分野で今、ロボット技術が注目されています。経済産業省と厚生労働省は、介護が必要な人の自立促進や介護する人の負担を軽減させるために8つの「ロボット技術の介護利用における重点分野」で開発・導入を進めています。(図表1)

しかし現状では、介護施設などでのロボット導入は、それほど進んでいるとはいえません。介護ロボットが広がらない理由について、大きく3つ挙げてみます。

ひとつは、「導入コストが高い」ことです。まだまだ需要が少ないため大量生産が難しく、一般家庭はもちろんのこと、導

入できる介護施設は限られています。

次に、誤動作など「安全面に対する不安」が挙げられます。これは、2014年2月に、生活支援ロボットの国際安全規格ISO13482が発行されています。生活支援ロボットが、国際安全規格に基づいた認証を取得すれば、安全対策の証明になることが期待されるため、安全面に対する不安は緩和されるでしょう。

3つ目は「ロボットが持つ冷たいイメージ」があります。介護は「サービス産業」ともいわれ、介護者には、ホスピタリティや要介護者への心配りが求められます。このため、人と人のふれあいが重視される“あたたかい介護”に、冷たいイメージのロボットを使うのには、ためらいが生じることが考えられます。

ロボットでは“あたたかい介護”は無理？！

一般的に介護施設は、人手不足で、介護職員は仕事に追われています。しかも、寝たきりの要介護者の移乗が原因で、腰痛を引き起こす職員も少なくありません。そこに、ロボットを導入し、要介護者の移動、排泄支援、見守り、入浴支援など、介護現場における仕事の省力化を図れば、介護職員の身体的な負担を軽減できる可能性があります。

身体的な負担が軽減されれば、介護現場にゆとりを生みだし、結果的に介護の質を向上させ、要介護者に対してより“あたたかい介護”を提供することにつながるかもしれません。

(図表1) 介護ロボット開発における8つの重点分野

● 移乗介助(装着型)



要介護者を移乗する時に、介護者が身に着けることで、腰の負担が軽くなる。ベッド、車いす、トイレ間の移乗をサポートする。

● 移乗介助(非装着型)



介護者による抱きかかえ動作のパワーアシストを行う。介護者一人で利用できる。ベッドと車いす間の移乗をサポートする。

● 移乗介助(屋外型)



要介護者が、外出し、自分の足で歩くことをサポート。荷物を安全に運搬できる。4つ以上の車輪があるなど。

● 移乗介助(屋内型)



要介護者の屋内移動や立ち座りをサポート。特にトイレへの往復やトイレ内での姿勢保持を支援する。要介護者のみ、もしくは介護者1人のサポートで使用できるなど。

● 排泄支援機器



排泄物の処理にロボット技術を用いたトイレ。設置位置が調整可能。排泄物の臭い拡散を防ぐため、室外へ流すまたは密閉して隔離する。

● 見守り支援機器(介護施設型)



介護施設で使用する、センサーや外部通信機能を備えたロボット技術を使用した機器のプラットフォーム。複数の要介護者を同時に見守り、昼夜問わず使用。ベッドからの離床を検知し、通報できるなど。

● 見守り支援機器(在宅介護型)



在宅介護において使用する、センサーや外部通信機能を備えたロボット技術を使用した機器のプラットフォーム。複数の部屋を同時に見守りができる。暗室や浴室でも使用できる。要介護者が転倒したことを検知し、通報できるなど。

● 入浴支援機器



浴槽に入浴する際、一連の動作をサポートする。要介護者のみ、もしくは介護者1人のサポートで使用できる。機器を使っても少なくとも胸までお湯につかることができる。介護者が1人で取り外しができるなど。

こんなにある介護ロボット

介護職員の腰痛予防を考えた「持ちあげ支援」スーツや、要介護者の動作をセンサーが感知する「見守り機能」のマット、要介護者の「コミュニケーションパートナー」など、今年9月に行われた「最新介護ロボット体験セミナー」への参加企業が開発・販売している介護ロボットの一部をご紹介します。

Neos+Care[®] (ネオスケア)

●NKワークス株式会社



業界初の予測型見守りシステム「ネオスケア」は従来の見守り機器とは異なり、最先端のロボットテクノロジーを用いた極めて精度の高い見守り機能と人間による繊細な見守りを融合することで、今までできなかった見守りを可能とする革新的なロボット介護機器です。長年にわたり培った画像処理技術を活用した要介護者と家族のいきいきとした最良の人生をサポートします。

非接触・無拘束ベッド見守りシステム OWLSIGHT[®] (アウルサイト)

●株式会社イデアクエスト



要介護者の立ちあがる、柵にもたれるといった姿勢の変化による大きな動きと、もだえ、ふるえのような小さな動きのどちらも検出可能なベッド見守りシステムです。赤外線を利用したセンサーにより要介護者を非接触・無拘束で見守り、センサーから得た情報を人工知能で処理することで要



介護者の危険な状態を判断し、介護者に通報します。また、要介護者の状態をプライバシーに配慮した画像で確認・記録することができます。

①見守り介護ロボット・ケアロボ

②認知症老人徘徊感知機器・ケアロボコール

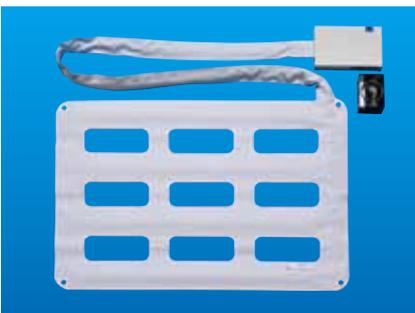
●株式会社テクノスジャパン



システムは、映像・音声と複合通信機能を持つ①「見守り介護ロボット・ケアロボ」と高性能センサー・徘徊センサー・認知症ケア製品・呼出スイッチ・見守りセンサー等を無線通信で結合した②ケア製品包括ネットワーク③携帯電話通信で構成するシステム製品として地域高齢者ケアを包括的に支援するもので、特に24時間対応の「定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス」において機能を最大に発揮する製品です。一部機能では「認知症老人徘徊感知機器」として貸与マークを取得しております。

aams

●株式会社バイオシルバー



現在ご使用中のマットレス下に敷くだけで、ご利用者の①心拍・呼吸の状態②寝返り体動有無③離着床といった生体信号がリアルタイムにわかるマット型センサーです。また、ご利用者の急な異変に対してもアラートできる機能があり状況に合わせた見守りができるように作られたonlyoneの見守りシステムです。

メンタルコミットロボ パロ

●大和ハウス工業株式会社

ギネスブック(2002年)にも認定されている「世界でもっともセラピー効果があるロボット」です。姿はタテゴトアザラシの赤ちゃんで、多数のセンサーや人工知能の動きによって、人間の呼びかけに反応し、抱きかかえると喜んだりするほか、人間の五感を刺激する豊かな感情表現や動物らしい行動をし、人を和ませ、心を癒します。

ロボットアシストウォーカーRT.1

●RT.ワークス株式会社



要介護者の外出機会を増やし、行動範囲を広げることで健康長寿でより豊かな生活を送っていただける製品です。ハンドルに手を添えて歩くだけの簡単操作で、路面の傾斜、荷重などその時々に応じて上り坂はアシストで楽に、下り坂は自動でブレーキがかかり、安心安全な歩行を実現、さらに、GPSとインターネットを利用した様々なサービスで「みまもり機能」「緊急通知機能」等で離れて暮らす家族にも安心を提供します。

スマイルサプリメントロボット「うなずきかぼちゃん」

●ピップ&ウィズ株式会社



小さな男の子の姿をしたコミュニケーションロボット。話しかけたり、触ったりすることで、内蔵された5種類のセンサーやスイッチが反応し、うなずきながらおしゃべりをしてくれます。また、コミュニケーションをとるほど成長し、言葉が増えたり、歌を長く歌えるようになります。



〈参考資料〉

- (1)経済産業省HP ニュースリリース「ロボット技術の介護利用における重点分野」を改訂しました
- (2)経済産業省産業機械課(参考)「ロボット介護機器開発・導入促進施策」平成26年2月
- (3)みんなの介護HP (4)介護ロボットポータルサイト

入居者同士の コミュニケーションを引き出す

〈導入概要〉

対象者／要支援2以上の認知症高齢者で、身の自立が出来、共同生活を送ることに支障がない人

導入後の変化／

- 笑顔とコミュニケーションを引き出した
- 元気づけや安らぎ
- 徘徊していた方が落ち着いた

「グループホームなごやか」にパロが導入されたのは、昨年6月です。名前は「まさる」くん。

週1回、14～15時、おやつの時間に、パロはやってきます。グループホームでは食事が終わり、入居者を一人ずつお風呂に案内する時間帯です。

パロをテーブルに置いてだけで、フロアの入居者9名のうち、5～6名が集まり、自然に会話が始まるそうです。

「かわいいね、抱っこしよう」

孫をあやしているような表情でパロを包み込む入居者さん、隣の方は、パロをなで、まばたきや鳴き声を楽しみながら、昔飼っていた犬との思い出を懐かしそうに語り始めます。パロは、その愛くるしい姿と表情で、入居者の笑顔を引き出していました。

『「ヒゲをさわるといやな顔をされた」など、パロの反応もちゃんと覚えていらっしゃるのです』とは管理者の井上英昭さん。

「グループホームなごやか」では、導入当初よりパロの活用記録をつけています。そこには、こんなことが書かれていました。

「普段はコミュニケーションをとらない2人がパロを通じて、45分間一度も席を立たずに会話をされた」「徘徊していた方が、落ち着いて過ごされるように

なった」「あまり自分から話しかけたことがない男性が、パロを見かけて自分から話しの輪の中にはいつてこられた」「寝たきりだったが、パロを連れていくと目をあけて反応された」など。

パロは入居者を癒すとともに、コミュニケーションのきっかけを創り出しています。「新規入居者さんの緊張をほぐすきっかけになれば」と期待する井上さん。さらにパロは、スタッフにとってもありがたい存在だと話します。

「入居者の方も『面倒をみている』という役立ち感があるようです。安らぎの効果も実感しています」



パロがやってくると笑顔に。入居者同士の会話も弾む

使用するメリットは、入居者と介護者双方に 安心・安全・快適なケアが提供できること

〈導入概要〉

対象者／要介護の人

導入後の変化／

- 見守りシステムNeos+Care®(ネオスケア) 転倒事故を未然に防ぐ
- 介護リフト(床走行型・壁収納型) 入居者と介護者双方の移乗負担が軽減

転倒防止のために共同開発した居室見守りシステムは、居室の壁に埋め込まれた赤外線距離センサーが、入居者の転倒につながる動作を感知したらアラームを発信。離れた場所にいるスタッフのスマートフォンが鳴り、その様子を画像で確認できます。

「転倒事故を検知した際に前後10秒間の映像を保存する機能も装備。事故後の対応や改善にも役立っています」と話すのは、オリックス・リビング(株)で広報課長・事業開発部を兼務している入江徹さん。

さらにスタッフの数が少ない夜間に、複数の呼び出しベルになった場合、居室の状況がわかれば、優先順位を落ち着いて的確に判断することができます。

もうひとつは、ベッドから車いすへの移乗をサポートする介護リフトを全施設で導入しています。当初、現場からは「移乗の時間がかかる」と反発がありました。しかし、抱えることによって身体の強張りや、痛みが出る入居者もいること、介護リフトを使えばそんな心身の負担が減るということ、スタッフに伝えながら導入を進めました。いまではスタッフから「リフトを使用している間、ゆっくりと会話ができるようになった」「無理な姿勢で腰痛になることが減った」などの声を聞きます。

現在では、車いすへの移乗の必要が無く、ベッドからトイレや洗面台へ直接移動することができる画期的な壁収納型介護リフトを共同開発し首都圏の施

設で導入しています。

「機器やロボットを補助的に使用し、スタッフにしか行えない業務を明確化させることにより、スタッフは、入居者とのコミュニケーションに専念できる環境が整い、入居者と介護スタッフ双方にとって、安心・安全・快適なケアが提供できると思います」



居室見守りシステムNeos+Care®(ネオスケア)は、さまざまな動作をキャッチして介護スタッフが持つている端末に発信



壁収納型介護リフト つるべSセット「Swing Lift CoCoRo」

介護ロボットとこれからの介護

介護する人、される人の両方が幸せになれるロボット

人は、歳をとって、介護が必要になっても、できれば人に頼らず、可能な限り、いままでどおりに暮らしたいと考えています。介護を家族に依存したくもないし、介護施設にも入りたくない。それは、誰もが願うことではないでしょうか？

日本は、介護分野で活用するためのロボット技術の開発が、非常に進んでいる国です。ロボットの用途を単純に分けると「介護する人を助けるもの」、「介護される人の自立を助けるもの」があります。現状では、介護施設における職員の心身の負担を軽減するためのロボットにやや偏って開発・導入がなされています。

2050年には、日本人の2.5人に1人が65歳以上です。この超高齢社会を考えると「介護する側、介護される側、どちらも幸せになれる」という視点でのロボット開発が求められるでしょう。

ロボットが全部やるのではなく残存機能をできるだけ活かして

例えば、介護職の腰痛を予防するため、身体に取り付けるスーツ型のロボットがありますが、その一方で「介護リフト」のように介護する人も、介護される人も負担を軽減する「人



が抱えない介護」が注目されています。(※P.3 オリックス・リビング参照) ちなみに腰痛の問題は、ロボット導入以前に、職員の仕事を管理することが必要ではないでしょうか。例えば「移乗は1日何人まで」と規定するだけでも効果はあるはずです。

また、できるだけ「人による介護に頼らない」暮らしを実現するには、少しのサポートで本人が実行できるリハビリ用のロボットが求められます。特に、高齢者が骨折して病院に入り、退院して老健施設に入所する場合、寝たきりになる人も少なくありません。その理由のひとつには、必要以上に車いすを使用することがあると考えています。ベッドから車いすに移り、施設内の移動も車いすに乗っている状況は安全ですが、本人は足腰が弱り、立てなくなることがあります。入所中も残存機能を最大限に使うロボットが必要です。

退所して自宅に帰ったり、高齢者専用住宅に入った後にも、生活のなかで使えるロボットであるならば理想的です。

寝たきりでも家族の役に立てる

在宅でも、同様です。

例えば、要介護者の自立をサポートするために作られた、ベッドと車いすに相互に形状が変化する「ベッド型ロボット」が開発されています。

このロボットを使えば、普段は寝たきりでも、宅急便がきた時、ボタンひとつで、ベッドを車いすに変えて、荷物を受け取ることができます。元気な時と同じようにはなりません、ロボットをつかえば、誰かの役に立つことができます。

さらに、介護される側の立場に立って考えた時、一番介護をされたくないのが排泄です。ベッドから起きて、トイレまで行き、座って排泄をサポートするロボットが現在開発中です。もし「排



大阪工業大学 工学部
ロボット工学科 教授
ロボティクス & デザインセンター長
本田 幸夫先生

泄ケアを自分でできる」なら、介護の将来も明るく見えてきませんか。

介護ロボットをみんなのものにユニバーサルなデザイン

介護ロボットが普及しない原因として「高コスト」のほかに、デザインの問題が大きいと考えています。

例えば、シルバーカーを引いている男性を見かけることはあまりありません。おそらく持ちたくないからでしょう。もし、男性が持っても、若い女性が持っても、違和感のないようなデザインにすれば、もっと広がるのではないのでしょうか？

確かに介護ロボットの開発には、最先端の技術が用いられますが、技術者だけで考え、技術の追求だけに走り、ユーザーが「使う気にならない」製品をつくってしまったのは、本末転倒です。

介護ロボットが広がるためには、老若男女が使ってみて、意見を出し合うことが必要です。とりわけ、女性の視点が重要です。

介護ロボットは、一部の人だけが使う特殊な機械ではなく、誰もが使いたい、使うと便利になるユニバーサルなものへと発展させるべきでしょう。そうすれば早く普及し、コストが下がり、歳をかさねても、自分の意志で、幸せに暮らせる生活の実現に近づくのではないのでしょうか。

講座案内

【市民向け講座】市内在住、在勤、在学の方

講座名	日時	受講決定	講師	内容	その他
国際セミナー 「暮らしの視点から見る アメリカ大統領選挙」 ～アメリカの何がいま、 問われているのか?～	1月29日(金) 14:00～16:00 (受付時間 13:30～14:00)	受講証はお送りし ませんので、申し込ま れた方は、受付時間 に会場へお越し下さ い。	京都光華女子大学 短期大学部 教授 脇田 哲志 元 NHKアメリカ総局長	社会福祉や税金、物価など暮らしに直結 する課題は、選挙の中でどう論議される のでしょうか? 「個人の自立」と「公共 の精神」の狭間で揺れ動くアメリカの 今を、人々の暮らしの視点から、元 NHKアメリカ総局長に話していただき ます。	定員 80人(先着順) 締切 1月25日 無料
介護実習講座 入門コース	①土曜日クラス 1月16・23・30日 13:30～16:00 ②火曜日クラス 2月9・16・23日 10:00～12:30	開講日の約1週間前 に受講証をお送りし ます。	①専門学校講師など ②看護師、訪問指導員 など	介護を初めて行う方に、介護への認 識・興味を深めてもらうため、基本 となる簡単な介護を体験します。	定員 20人(先着順) 締切 ①1月5日 ②1月28日 500円 (資料代、保険代)
介護実習講座 介護者のための 調理講座	①第1クール 介護食 1月8日(金)、 ポリ袋調理法 1月9日(土) ②第2クール 電子レンジ活用法 2月5日(金)、 介護食 2月6日(土) ③第3クール ポリ袋調理法 3月4日(金)、 電子レンジ活用法 3月5日(土) 時間はすべて13:00～16:00	開講日の約2週間前 に受講証をお送りし ます。	大阪市在住地域活動 栄養士の会 大地の会	介護者のために短時間で、簡単に できる調理法や介護食について調 理実習します。3つのテーマで3 クール開催し、1テーマから申し 込めます。	定員 15人(抽選) 締切 第1クール 12月20日 第2クール 1月17日 第3クール 2月14日 1テーマ 1,000円 (材料代、資料代、 保険代)

◆市民向け講座の申込み方法◆

ハガキ・FAXに次の必要事項を記入して、お申し込みください。(当センターホームページや電話での申込みも受け付けます。)
 (必要事項)①講座名 ②名前(ふりがな) ③郵便番号・住所 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥大阪市在住でない場合は、勤務先または学校名と所在地
 ⑦介護実習講座申込みの方は、介護経験の有無(有の人は年数も記入)

【福祉従事者向け研修】

申し込み多数の場合は抽選です。締め切り後に、事業所あてに決定通知を送付します。

研修名	日時	受講対象者	講師	内容	その他
【メンタルヘルス研修】 「管理職のためのメンタルヘルスマネジメントの 実際」管理職員対象	1月28日(木) 13:30～16:30	大阪市内の福祉関係 施設・事業所に勤務 する管理職の方	ハタ生活総合研究所 代表 畑 理恵	ストレス状況を把握する方法、ストレスと 上手に付き合う方法などを学び、対人援助 職のモチベーション低下や燃えつき予 防法などについての理解を深めます。	定員 50人 締切 12月22日 受講料 3,000円
【組織運営管理研修】 「福祉の職場OJT推進 研修」	2月26日(金) 3月4日(金) 9:30～17:00	大阪市内の福祉関係 施設や事業所で指 導的立場(予定者 を含む)の方	関西福祉科学大学 教授 津田 耕一	OJTの重要性と推進体制を理解し、効果 的な指導方法を習得することを目的に 開催します。	定員 50人 締切 1月15日 受講料 6,000円
【多職種連携・地域協 働・地域課題の発見と 解決に向けて】 「地域を基盤としたソー シャルワーク研修」	①1月7日(木) 13:30～16:30 ②3月4日(金) 14:00～17:00	大阪市内の福祉関係 施設・事業所に勤 務する方	①大阪市立大学大学院 教授 岩間 伸之 ②桃山学院大学 教授 松端 克文	地域を基盤とした社会福祉援助の理 念、個別支援と地域支援の一体的支 援や、地域福祉の理念等を学びま す。コミュニティソーシャルワーク 実践講座との合同開催です。	定員 50人 締切 12月12日 受講料 3,000円
介護職員研修 介護職援助の 医療知識② 「感染症について ～知識と予防～」 インフルエンザと感 染症胃腸炎を中心に	12月14日(月) 14:00～16:00	大阪市内の福祉事 業所で高齢者等 の介護に従事する 方	大阪府医師会 介護・高齢者福祉委員 会委員 医師 浅井 晃	冬季に起こりやすい感染症を中心とし た集団感染や二次感染の予防に関する 知識、利用者が発症したときの対 処法などについて学びます。	定員 60人 締切 12月6日 受講料 1,500円

◆福祉従事者向け研修の申込み方法◆

当センターのホームページから申込むか、申込用紙をダウンロードしてFAXでお申し込みください。

◆上記の申込・問合せ先◆

大阪市社会福祉研修・情報センター 〒557-0024 西成区出城2-5-20 ☎06-4392-8201 FAX06-4392-8272 [HPhttp://www.wel-osaka.jp](http://www.wel-osaka.jp)

福祉・介護専門職のキャリアアップをサポート!

福祉・介護
専門職必携

福祉・介護職員のキャリアデザインノート 受講履歴管理手帳

福祉援助職として、プロフェッショナルの力を高めるため、生涯にわたる学びを指し示す「大阪市福祉関係従事者生涯研修体系図」と、これまでの研修受講が記録できるシートがセットになった「福祉・介護職員のキャリアデザインノート 受講履歴管理手帳」を販売しています。

- (内容)
- A4判・リングファイル
 - 人生カレンダー
 - キャリアデザインシート(ワークシート編)2頁
 - 大阪市福祉関係従事者生涯研修体系図
 - 受講履歴管理ページ(受講履歴シート編)9頁
 - ビニールファイル4枚



持ち運びしやすいA4判!
カバンにもスッキリ入る!



これ1冊に受講履歴を
ファイリング。
修了書や資料が
散逸しません!



今がチャンス!!

今なら、大阪市社会福祉研修・
情報センター主催研修に使える
「受講料500円割引クーポン」
が1冊に1枚ついています

クーポン有効期限

平成28年2月29日

発行者: 大阪市福祉人材養成連絡協議会 大阪市社会福祉研修・情報センター
問合せ・申込み先: ☎06-4392-8201 ☎06-4392-8272 ✉kensyu@shakyo-osaka.jp

定価 600円(税込) 発行: 2015年3月



あなたの“学びたい”“知りたい”を 「ウェルふるネット」が応援!

社会福祉に関する研修・イベント・報告書などの情報満載!

☘メールマガジンの登録はこちらから

●スマートフォンや携帯電話への配信も可能です!

- ①受信制限をかけている方は、メールマガジンの配信元メールアドレス「jinzai@shakyo-osaka.jp」を受信できるように設定操作してください。
- ②右のQRコードを読み取り、空メールを送信してください。
- ③登録完了メールが届きます。

※QRコードを読み込めない場合、携帯電話は254g2r@a07.hm-f.jp、
スマートフォンは254g7r@a07.hm-f.jpに送信してください。
※購読料は無料です。通信費は各自の負担となります。



スマートフォン
対応QRコード



携帯電話
対応QRコード

大阪市福祉人材養成連絡協議会のホームページ <http://www.welful.net/>

第53回 弘済院附属病院市民公開講座

日時・場所 / 平成28年2月2日(火) 14時~15時 (開場 13時30分) 大阪市立弘済院 寿楽館(吹田市古江台6-2-1)

内容 / 「日常生活のストレスや関連する病気」をテーマに講演を実施します。

講師 / 大阪市立大学大学院医学研究科 神経精神医学 教授 井上 幸紀

定員・受講料 / 90名(先着順) 無料

申込方法 / 電話又はFAX・メール(第53回公開講座参加希望と明記のうえ、参加者(複数名希望の場合は代表者のみ)の氏名・住所・電話番号・希望人数を記載にてお申し込みください。

申込期間 / 平成28年1月4日(月)から平成28年1月29日(金)まで

お問合せ・申込み先 / 〒565-0874 吹田市古江台6-2-1 大阪市立弘済院附属病院

問合せ / ☎06-6871-8013 ☎06-4863-5351 ✉kousaiin-kouza@city.osaka.lg.jp



戦前の大阪市保健部の 乳児死亡低減の取り組み②

大阪市立大学前期博士課程修了 樋上 恵美子



本稿は三話完結の第二話です。

大阪市はどのような取り組みをして乳児死亡を減らしたのでしょうか。大正後期、まだ保健部がない時代に社会部が取り組んだことを話します。

最初に始めたのは、妊産婦の保護です。大阪毎日新聞慈善団は、妊産婦を保護するため、1914(大正3)年5人の嘱託産婆による無料助産を開始しました。当時、嘱託産婆の無料助産を利用するには、警察に申込切符を申請し認可される必要がありました。5年後に方面委員制度が整ってからは方面委員(今の民生委員)がこれを引き継ぎます。方面委員は、困った人の生活援助のひとつとして嘱託産婆の利用をすすめていました。方面委員が増えるとともに、嘱託産婆も増加し、最終的には100人に達しました。

もう一つは産院の開設です。大阪市は1920(大正9)年4月、北区に貧しい妊産婦が入院・出産できる市立産院を開設します。方面委員や警察から利用を認められれば、瓶代と食費の実費以外は、妊産婦の診察費、入院分娩費、それに関する相談、乳児保育相談、乳汁検査費などは一切無料で利用できます。食費も払えない貧困の家庭の場合は、これらがすべて無料になり、幼児を持つ妊婦は連れて入院ができました。

市内には、本庄産院、阿波堀産院、今宮産院があり、3カ所全部で1926年までに1万1,236件の出産を扱っています。ところが、このうち52.7%が異常産でした。なぜ、大阪市立産院では、こんなに異常産が多いのでしょうか。

本庄産院院長の余田忠吾氏によれば、妊娠中に病気を持つ外来患者が85%もいたことが原因といます。脚気、腎臓炎(これは妊娠中毒症のこと)、結核の他に梅毒など、妊娠で体力の落ちた時期に疾病を誘発し、治療費がないため放置され悪化し、分娩時に異常が生じたのです。また、逆子や子宮外妊娠も多く、特に娩出力(赤ちゃんを押し出す力)が弱く難産になり胎児の命を落としたこともあったようです。

1924(大正13)年～26(大正15)年は、徐々に正常産が増えていきます。これは、

尿検査など妊娠専用の検査を行い、妊娠中毒症を防いだからだと言います。余田院長はみています。

このような妊産婦保護の取り組みのなか、1921(大正10)年以降、死産率(出産千あたりの死産数)は徐々に、妊産婦死亡率(出産十万人あたりの妊産婦死亡数)は急激に減っています。しかし、全国と比べるとまだ高いといえます。そこで大阪市は、妊産婦が病気を治せるように、1925(大正14)年、阿倍野橋に大阪市立市民病院を設立しました。世帯年収800円未満は無料、800円～3,000円未満は有料(1930(昭和5)年に800円～1,200円は有料でも実費のみになります)、世帯収入が3,000円以上は利用できません。ちなみに余田院長によれば、この時代、大阪市民のうち世帯収入1,200円以下の人が6割、1,200～3,000円までが3割、3,000円以上が1割ぐらいでした。

次に、乳幼児の保護について話します。1919(大正8)年、大阪市立児童相談所が今宮に開設されました。大正時代は小学生の児童労働があり、紡績などの大工場では工場内に小学校がつけられ、中小工場地帯では夜間の小学校が作られていました。富裕な中心部では、学区制がしかれ立派な幼稚園や小学校ができた対極をなしていました。

児童相談所は、妊婦への支援から子どもへの就労支援、障がい児の教育と、あらゆる児童支援を行っていました。10代で就職した子どもが健全に仕事を務めるように援助するためのレクレーションもありました。特に、初めて子どもを産む母親に対しての育児指導に力を入れ、妊婦、乳児の母親に育児・栄養法を教え、乳汁検査や発達診断を行い、必要な場合は家庭訪問をして指導していました。こうした保健婦の仕事が始まったのは、全国で大阪が一番早く「保健婦の発祥地は大阪」だと言われるゆえんです。1923(大正12)年、この児童相談所は、相談所内に乳児室を設け、翌年児童相談所を解消して、今宮

乳児院になりました。

大阪市立の乳児院のもうひとつは1921(大正10)年、堀川につくられました。乳児院では一日1円くらいの日稼ぎの人の2歳以下の乳児の保育を行っていました。保育時間は朝6時から夜6時まで、3時間置きに牛乳を3回飲ませて、送迎時に母乳を飲ませる混合栄養で栄養障害(下痢)を防いでいました。外来の小児科診療所を持ち、感染の恐れのない病気の場合は、病児保育も行っていました。

堀川乳児院は北区と西区、今宮乳児院は旧東区と旧南区(現在の中央区)と、業務区域を分担していました。産婆と看護婦の両資格を持つ訪問婦が、出生届から育児指導を必要とするような家庭を選び、生後20日ごろから20日おきに5回訪問し、乳児だけでなく親の栄養法も指導しました。訪問婦が乳児に疾病の徴候を見つけると、乳児院の外来無料診療を進めました。この訪問指導の効果も大きく、特に脚気による乳児死亡を大きく減らしました。

堀川乳児院長の三野裕氏は、乳児保育を行う乳児院が大阪に二つでは少なすぎる。借家でいいから乳児保育所を多くつくり、乳児院の医師が巡回すれば安心で、乳児を持つ単身の女子労働者なども利用しやすくなると訴えました。しかし、実現しませんでした。これは需要がなかったのではなく、利用する人が自分たちで運動を起こして広げていく力が弱かったことと、女子労働者をしてきた母親たちの体の状態が悪く、工場の労働と出産・育児の両立が難しかったからと考えられます。ちなみに戦後には、運動により、無認可の乳児の保育所が開設されています。

1920年代は、結核死亡率が1930年代ほど国を挙げての取り組みをしていないにもかかわらず、下がっています。これは生活水準の向上による妊産婦含め全体に栄養状態が改善したことと、労働しない母親が増加したことが背景にあるのでしょうか。乳児の肺炎死亡減少もその影響ではないかと思っています。(第三稿に続きます)

※この稿は大阪市社会福祉研修・情報センターで開催された「社会福祉史の市民講座」の講演[講師:樋上恵美子]の聴き取り(言葉については歴史的事実として当時の表現をそのまま使用しています)から抜粋したものです。詳細は来年1月、大阪大学出版会から発行予定の樋上恵美子『近代大阪の乳児死亡と社会事業』に載っています。ご覧ください

図書・DVD新着情報



図書紹介

『新しい福祉機器と 介護サービス革命』

大橋 謙策 監修 ほか
日本医療企画 2014年

主要な福祉機器の活用法や、導入時に必要な情報について解説。介護ロボットについても言及し、これからの介護労働のあり方を考える。



『旅のこぼれ 認知症とともに よりよく生きるためのヒント』

井庭 崇 編著 ほか 丸善出版
2015年

認知症生活を旅にたとえ、本人、家族、みんなの立場から、認知症になったときにどう過ごせばよいかを具体的にまとめたヒント集。



『障害のある子の家族が 知っておきたい「親なきあと」』

渡部 伸 著 主婦の友社
2015年

障がいのある子が、親なきあとも地域社会の中で安心して生きていけるために、家族が知っておきたいことをわかりやすく紹介する。



DVD紹介

『心理療法』

(株)アローウィン 73分
2014年

来談者中心療法、認知行動療法、箱庭療法、SST、家族療法など、よく知られている心理療法12種類を取り上げて、各事例を約5分ほどで紹介したDVD。



『世界の果ての通学路』

(株)KADOKAWA 77分 2015年

世界には、学校に行くために想像を絶する道のりを、毎日通っている子どもたちがいる。フランス発、地球を通学路という観点から捉えた驚きと感動のドキュメンタリー!世界の果ての通学路から、希望に満ちた地球の今と未来が見えてくる。



『うまれる』

うまれるパートナーズ 104分
2015年

出産・流産・死産・不妊・障がい。いのちの誕生をめぐる、4組の家族が織りなす、笑と涙の愛の物語。“生きる”ことを考えさせられるドキュメンタリー。



図書・資料閲覧室からのお知らせ

❄️ 冬のおすすめ本紹介 ❄️

クリスマスにお正月♪イベント盛りだくさんな冬にぴったりな本を紹介します!

『楽しい! 高齢者向け 人気レクリエーション』

森木 勇一郎 監修
(株)学研パブリッシング 2014年

作業療法士がおすすめするレクリエーションを紹介する。



『高齢者に作ってあげたい スイーツレシピ』

代居 真知子・太田 道子 著
(株)誠文堂新光社 2015年

食べやすさ・栄養に配慮した高齢者向けのスイーツレシピを掲載



●大阪市社会福祉研修・情報センター2階の図書・資料閲覧室では、福祉に関する図書・DVD・ビデオなどを、無料で貸出しております。(認知症、介護技術、手話のDVDや、福祉の関心の雑誌などが充実しています。)

開室時間：月曜日～土曜日 午前9時30分～午後5時

休室日：日曜日・祝日(土曜日は除く)・年末年始 ☎06-4392-8233



図書・資料閲覧室は、書籍・資料などの整理・点検のため、平成28年1月4日(月)～8日(金)まで臨時休室いたします。ご利用の皆様には、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※臨時休室の期間、返却は1階事務所で朝9時～夜9時まで受け付けております。



一生に一度は受けよう! 肝炎ウイルス検査

肝臓がんの原因の約90%は、B型およびC型肝炎ウイルスの感染によってひきおこされます。肝炎ウイルスに感染しても、多くは自覚症状がありません。

そのため、感染に気づいていない人もいて、知らない間に慢性肝炎や肝硬変、肝臓がんになっていることがあります。肝炎の治療は技術の進歩により、適切な治療を行うことで、病気の進行を遅らせたり、治る確率も高くなりました。

●まずは、肝炎ウイルス検査を受けてみましょう!

〈肝炎ウイルス検査を受けるには?〉

対象者 / 当該年度において40歳以上の市民で、過去に肝炎ウイルス検査を受診したことのない方

料金 / 1,000円

実施方法 / 特定健康診査・後期高齢者医療健康診査・生活保護受給者に対する健康診査と同時実施

実施場所 / 取扱医療機関および各区保健福祉センター等(医療機関については事前に確認要)

※肝炎ウイルス検査は血液検査です。

※感染不安がある方に対し、各区保健福祉センターでも予約制で検査を実施しています(無料)。

※一度受けた事がある方、ご自身の肝炎ウイルス検査の結果を知っている方は、何度も受ける必要はありません。

大阪市では適切な治療を受けることができるように、検査を受けられた方へは「肝炎フォローアップ事業」を実施しています。

〈お問い合わせ〉お住まいの区の保健福祉センターまで

あなたの骨は大丈夫?~骨粗しょう症検診を受けましょう~

年齢とともに骨の中のカルシウムが次第に減少し、骨がスカスカになり、もろくなります。60歳を過ぎれば女性の3人に1人は骨粗しょう症と言われており、寝たきりの原因とも言われています。

骨粗しょう症を早期発見し、受診することが大切です。

骨粗しょう症による骨折を予防し、いつまでもいきいきと過ごしましょう。

対象者 / 当該年度において18歳以上の市民 **料金** / 無料

実施場所 / 各区保健福祉センター 予約要

※骨粗しょう症治療中の方は検査を受ける事ができません。

〈お問い合わせ〉お住まいの区の保健福祉センターまで

その他にも検診を実施しています!

- がん検診:胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診
- 歯周疾患検診

〈お問い合わせ〉大阪市健康局健康づくり課(成人保健グループ) ☎06-6208-9943

今月の 自助具 カトラリーホルダー

資料提供 HUMAN 岡田 英志さん

主な適応疾患・対象者▶

- 手指の筋力低下や、麻痺のある方。

機能・特徴▶

- スプーンやフォークを自分の手で握ることができない人でも、食事ができる。
- 外出先でのレストランなどのスプーンやフォークが使える。
- コンパクトでシンプルな形状なので持ち運びが苦にならない。
- 目立たなく楽しく食事ができる。

使い方▶

- ホルダーのバンド部にスプーンやフォークの柄の部分を差し込み固定し、リング部に指を通して保持することで食事ができる。



問合せ▶大肢協ボランティアグループ・自助具の部屋 ☎06-6940-4189 (月・水・金 10:00~15:00)

健康生活 応援グッズ

車いすで 積極的に外へ

車いす

独自の曲線フレームが 乗り心地とコンパクトさを実現



WA22-40A

WA16-40A

●次世代型標準車いすウエイビット

コンパクト立体構造フレームでスリム化と操作性と旋回性の向上を図りました。また、3つの曲線パイプが体のラインにフィットし、長時間乗っても疲れません。

コンパクトサイズに 使いやすさと安全性を追求



自走型

介助型

●コンパクトセミモジュール車いすARシリーズ

小柄な方でも超低床でしっかりと足をつけて安全に楽に移乗できます。シートも奥行ショートで奥までしっかりと座ることができます。

介助する方に合わせた速度を維持 押す力は不要の電動車いす



座面シートを45°または90°回転できるので、乗り降りもラクラク。

●介助用標準型車いすSP40-K

実用登坂角度6度あるので、街中のスロープや緩やかな坂程度なら軽々と登ります。バッテリーも連続走行8.7kmでお散歩や買い物に最適です。

問合せ

公益社団法人関西シルバーサービス協会 事務局 〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54 大阪社会福祉指導センター内

☎06-6762-7895 ☎06-6762-7894

http://kansil.jp

平成28年度介護職員実務者研修通信課程 受講者を募集します!

介護福祉士の資格の取得にあたり、平成29年1月の国家試験より3年の実務経験に加え、450時間(※)の実務者研修の受講が必須となります。大阪市社会福祉協議会では、全国社会福祉協議会 中央福祉学院が実施する介護職員実務者研修通信課程の「面接授業(介護過程Ⅲ)」と「演習(医療的ケア演習)」を受講できるコースを開設します。

保有資格	受講料(テキスト代込/税込)	
資格なし	145,000円	
介護職員初任者研修	130,000円	
訪問介護員養成研修 (ホームヘルパー)	1級	90,000円
	2級	130,000円
	3級	145,000円
介護職員基礎研修	70,000円	
認知症介護実践者研修	145,000円	
喀痰吸引等研修	130,000円	

受講期間／平成28年4月1日～12月31日(9か月間)

定員／土日コース:36人、平日コース:36人

学習内容／

◎中央福祉学院の行う通信学習による課題作成

◎大阪市社会福祉協議会の行う面接授業(介護過程Ⅲ)と演習(医療的ケア演習)

※保有資格によって受講科目数が異なります

申込締切／平成27年12月31日(木)

受講料／お持ちの資格によって、受講料が異なります。

申込みを希望される方、また、資料をご覧になりたい方、まずは、資料請求してください。詳しくは、ホームページをご覧ください。

問合せ・申込み先

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会(大阪市社会福祉研修・情報センター)
 ☎06-4392-8201 ☎06-4392-8272 ✉kensyu@shakyo-osaka.jp
 🌐http://www.wel-osaka.jp(大阪市社会福祉研修・情報センター)

あなたのお好みに仕上げます。

パンフレットやカタログなど、

作りたいものがカタチにならず困っていませんか?

当社が企画から納品にいたるまで、各専門スタッフが、

あなたのお好みに合わせて仕上げます。

デザイン、
制作のことなら
気軽に
ご連絡ください。



TOTAL CREATION
AD.EMON
 株式会社 アド・エモン

〒530-0045 大阪市北区天神西町8-19 法研ビル5F

TEL:(06)6362-1511(代) FAX:(06)6362-1510 E-mail:info@ad-emon.com

<http://www.ad-emon.com>

(広告)

福祉職員のための メンタルヘルス相談



毎週土曜日と、毎月第1・3水曜日に開設しています。

疲れやすい、やる気がでない、眠れない、
対人関係がうまくいかない…など
福祉の仕事に携わる方の
ストレスから生じるさまざまな問題の
相談に応じます。



メンタルヘルス相談(予約制)

電話または来所(まずはお電話ください)

必要に応じて来所によるカウンセリングも行います。

☎06-4392-8639

大阪市社会福祉研修・情報センター

●相談日時:毎週土曜日、第1第3水曜日

午前9時30分～午後4時

※予約は、平日(午前9時30分～午後4時30分)も
受付しています。

●相談員:臨床心理士 ●相談料:初期相談無料

※秘密厳守します。

メンタルヘルス相談では、ご本人からだけではなく、
周囲にいる同僚や上司の方からのご相談も受け付けています。

CENTER INFORMATION

大阪市社会福祉研修・情報センターのご案内

開館時間 / 午前9時から午後9時まで(土・日曜日は午前9時から午後5時まで)
ただし、図書・資料閲覧室は午前9時30分から午後5時まで(月～土曜日)
休館日 / 国民の祝日(土・日曜日と重なる場合は除く)、年末年始(12月29日～翌1月3日)

●それぞれの開設日・時間

項目	直通電話番号	開設日(休館日を除く)	開設時間
会議室など利用の問い合わせ	06-4392-8200	毎日	午前9時～午後9時(土・日午後5時まで) (会議室の申込・お支払いは午前9時30分～午後5時)
研修関係の問い合わせ	06-4392-8201		午前9時～午後5時
図書・資料閲覧室	06-4392-8233	月～土曜日	午前9時30分～午後5時

貸室ご利用の皆様へ

大阪市社会福祉研修・情報センターでは、貸室ご利用の皆様へ、より计划的に便利にご利用いただくため、空室状況を公開し、FAXによる申込みを受け付けています。

① 空室状況をホームページに掲載しています。

空室状況は、ホームページの「貸室のご案内」→「空室一覧」に、PDFで6か月分掲載。

<http://www.wel-osaka.jp/>

② 利用申込の受付は6か月前からです。

利用日の6か月前から、電話や直接窓口で予約いただいたうえ、所定の用紙でお申し込みください。

受付時間は午前9時30分から午後5時まで

☎06-4392-8200

●FAXによる申し込み手続きの手順

FAXによる申込は、ホームページの「貸室のご案内」→「FAXでのお申し込み」に、申込手順を掲載しています。

FAX06-4392-8206

※FAXでの申し込み可能な期間は、利用日の6か月前の午前9時30分から利用日の3日前までです。

■会議室等の使用料

利用できる貸室および料金は、次のとおりです。ご予約は利用日の6か月前からです。

室区分	利用人員のめやす	時間区分	午前	午後	夜間	昼夜間
			9:30～12:30	13:00～17:00	18:00～21:00	9:30～21:00
4階	会議室	99	3,800	5,100	3,800	11,400
	会議室 東	45	1,900	2,600	1,900	5,800
	会議室 西	54	2,900	3,800	2,900	8,600
	介護実習室	36	5,700	7,600	5,700	17,100
	演習室	18	1,000	1,300	1,000	3,000
5階	大会議室	144	5,800	7,700	5,800	17,400

(単位:円)

交通 / ご来所には**【市バス】【JR】【地下鉄】**をご利用ください

●市バス

「長橋二丁目」バス停すぐ
52系統(なんば～あべの橋)

●JR大阪環状線・大和路線

「今宮」駅から徒歩約9分

●市営地下鉄・四つ橋線

「花園町」駅(①・②出口)から徒歩約15分

「大國町」駅(⑤出口)から徒歩約15分

所在地 / 〒557-0024 大阪市西成区出城2丁目5番20号

設置主体 / 大阪市

運営主体 / (指定管理者)
社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

電話 / ☎06-4392-8200(代表)

ファックス / FAX06-4392-8206

URL / <http://www.wel-osaka.jp/>

人権啓発キャッチコピー

【テーマ】障がいのある人をめぐる人権

私は強く生きてます 君たちよりもワイルドに。

大久保 知泰さん(平成26年度「人権に関する作品募集事業」キャッチコピー高校生部大阪市長賞)